

2012年6月 ITU-R SG1会合報告書

【会合名称】 ITU-R SG1会合

(周波数管理に関する研究委員会)

【会期】 2012年6月14日

【開催場所】 スイス・ジュネーブ ITU本部

【概要】

本会合は、今研究期間における第1回会合である。38ヶ国の主管庁と8の認められた通信、放送、科学技術、工業団体、地域及び国際機関並びに事務局より計124名が参加した。日本からの参加者は、奥川（総務省）、小川（NICT）、服部、高部（NTTアドバンステクノロジー）、森（ワシントンコア）の5名である。

WP1A、1B及び1Cからの寄書及び他グループからのリエゾン文書等を含め計44件¹の文書が入力され、新勧告案1件、勧告改定案5件が採択・承認された。また、RA-12で改定されたITU-R決議1-6にのっとり、本研究期間から新勧告および勧告改定の承認にあたっては基本的にはPSAA（Procedure for the Simultaneous Adoption and Approval by correspondence）による採択・承認手続きがとられることになった²。本会合におけるその他の主な審議結果は以下の通り。

- ・ 新研究報告3件、研究報告の改定3件が承認された。
- ・ 1件の課題改定案（無線電力伝送に関するITU-R研究課題210-2/1）が承認された。
- ・ 当初の議題にはなかったものの、BR局長提案により、SG1にてデジタルディビデントの規制、経済、社会、周波数再分配等に関する各国の情報を集める報告を作成することが定められ、ロシア主導によりToRが作成された。CG議長は地上デジタル波への移行に先進的に取り組み、同分野における経験が豊富であるとの考えからドイツが選定された。本件についてはWRC-15の議題1.2が技術的検討を所掌する点を踏まえ、WRC関連の活動はしない点が強調された（詳細は以下10項参照）。

1. 勧告案

WP1Aから提出された2件の文書（新勧告案1件、勧告改定案1件）、WP1Bから提出された2件の勧告改定案、またWP1Cから提出された2件の勧告改定案の合計6件が採択・承認された。

なお、RA-12で採択されたITU-R決議1-6に示されたワーキングメソッドに従い、新勧告および勧告改定の承認にあたっては基本的にはすべてPSAA（Procedure for the Simultaneous

¹ これに加えて、前研究期間から持ち越された文書 18 件も入力された

² Working methods for the Study Groups ([Resolution ITU-R 1-6](#)) 参照。ただし、RR に参照により引用されている勧告は対象外とされる。

Adoption and Approval by correspondence) による採択・承認手続きがとられることになった³。

1.1 WP1Aからの勧告案

入力文書 Doc.1/30, 39

ITU-R新勧告SM.[ISM](30MHz以下で使用する電磁誘導機器と無線通信業務との保護距離の計算)については文書内の数式を確認するなど、一部修正が加えられた上で承認された。

ITU-R勧告SM.329-11 (Unwanted emissions in the spurious domain) の修正案については特段大きな議論なく承認された。

文書番号	提出元	勧告名	表題	種別
1/30	WP1A	SM.[INDUCTIVE_SYS]	OoB domain emission limits for primary radar systems	新
1/39	WP1A	SM.329-11	Unwanted emissions in the spurious domain	改定

1.2 WP1Bからの勧告案

入力文書 Doc. 1/22, 28

WP1Bからは1/22(ITU-R勧告SM.1603 国家周波数管理の手段としての周波数再分配)と1/28(ITU-R勧告SM.1047-1 国家周波数管理)の2件の勧告改定案が入力され、特段の議論・変更なく承認された。

文書番号	提出元	勧告名	表題	種別
1/22	WP1B	SM.1603	Spectrum redeployment as a method of national spectrum management	改定
1/28	WP1B	SM.1047-1	National spectrum management	改定

1.3 WP1Cからの勧告案

入力文書 Doc. 1/32,33

WP1Cからは1/32 (ITU-R勧告SM.1600 デジタル信号の識別技術) と1/33 (ITU-R勧告1753-1 電波雑音の測定法) の2件の勧告改定案が入力された。前者は変更なく、後者については一部微細な修正を加えた上で承認された。

文書番号	提出元	勧告名	表題	種別
1/32	WP1C	SM.1600	Technical identification of digital signals	改定
1/33	WP1C	SM.1753-1	Methods for measuring radio noise	改定

³ 脚注 2 参照

2. 勧告の Editorial な修正

入力文書 Doc.1/38

WP1Cから入力されたITU-R勧告SM.1875（DVB-Tの周波数範囲測定と計画標準の検証）のAnnex 1、セクション2.2に関するEditorialな修正は特段の議論なく承認された。

なお、勧告のEditorial修正は新勧告や勧告改定の承認手順とは異なりSG1会合により採択・承認され、会合終了後すぐに有効とされる。

文書番号	提出元	勧告名	表題	種別
1/38	WP1C	SM.1875	DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	改定

3. 研究報告⁴

3.1 WP1Aからの研究報告案

入力文書 Doc.1/26

PLTシステムが80MHz以上のVHF/UHF帯で運用される無線通信システムに及ぼす影響に関するITU-R報告SM.2212（1/26）の改定案については3.9bis節に記載されているPLTからの干渉保護のための雑音レベルが-188dB/mとされている点にイスラエルが厳しすぎるレベルであると指摘し、-159.67dB/mが正しい数値であると主張した。これに対し、IARUが数値は基本的には勧告RS.1262からの引用であると主張し、オフラインで確認した結果、変更なしで正確な数値であるとされた。

また、具体的にはPLT機器を指すdeviceのことを「devices not having a corresponding allocation in the Radio Regulations」と表現している点については、この機器が無線局だけを指すのか、無線業務のことまで含めることになるのかなど誤解を招く表現であるとスウェーデンが指摘したが、BBCがこれまでの使われ方と区別するための表現であると説明し、変更なしで合意された。本文書は上記の議論を経て承認された。

文書番号	提出元	研究報告名	表題	種別
1/26	WP1A	SM.2212	Impact of power line telecommunication systems on radiocommunication systems operating in the VHF and UHF bands above 80 MHz	改定

3.2 WP1Bからの研究報告案

入力文書 Doc.1/23, 24

ITU-R新報告SM.[RFID]（1/23）は表内に参照されている標準の完成時期など微細な誤りを修正した上で、特段の議論なく承認された。

⁴ 研究報告は SG1 会合により採択・承認され、会合終了後すぐに有効とされる

また、ITU-R報告SM. 2153-2（SRDの技術的・運用パラメータと周波数利用）の改定案（1/24）についてはAnnex 2のAppendix 1に埋め込まれているCEPTの情報（PDFファイル）について、本文書（REC70-03）が頻繁に改定されるという性質に加え、多言語に翻訳されるものでもないためウェブサイトへのリンクだけ記載すべきとイスラエルが提案したが、SG1議長により脚注に「英語のみ。最新版はウェブ参照」との但し書きがあるため問題ないとされ、特段大きな変更なく承認された。

文書番号	提出元	研究報告名	表題	種別
1/23	WP1B	SM.[RFID]	Technical characteristics, standards, and frequency bands of operation for RFID and potential harmonization opportunities	新
1/24	WP1B	SM.2153-2	Technical and operating parameters and spectrum use for short range radiocommunication devices	改定

3.3 WP1Cからの研究報告案

入力文書 Doc.1/25,31,34,35

新報告3件と報告改定版1件が承認された。ITU-R報告SM. 2125-1（H/V/UHF監視受信機及び監視局における測定パラメータと測定手順）のEditorial更新案（1/25）は特段の議論なく承認された。

新報告案についても、SM.[MAJOR_EVENT]（主要イベント期間中における電波監理及び監視）（1/31）、SM.[SPECT_OCCUPANCY]（周波数占有率測定と評価）（1/34）、SM.[406MHzIX]（406.0-406.1MHz帯の緊急ビーコンに影響する干渉源検出と地理位置特定の概要）（1/35）の3件が特段大きな修正なく承認された。

なお、1/35に関連して401～401.1MHzで運用されている移動衛星業務の保護はWRC-15の議題9.1.1（決議205）となっていることから、本新報告が完成した点について本議題の責任グループであるWP4Cへリエゾン文書を送りたいと米国が提案し、合意された。同文書は確認のためWP1Cにも送付されることになった

文書番号	提出元	研究報告名	表題	種別
1/25	WP1C	SM.2125-1	Parameters of and measurement procedures on H/V/UHF monitoring receivers and stations	改定 (Editorial)
1/31	WP1C	SM.[MAJOR_EVENTS]	Spectrum management and monitoring during major events	新
1/34	WP1C	SM.[SPECT_OCCUPANCY]	Spectrum occupancy measurements and evaluation	新
1/35	WP1C	SM.[406MHzIX]	Overview of interference source detection and geolocation affecting the 406.0-406.1 MHz band used by emergency beacons	新

4. 新課題及び課題の改訂

4.1 WP1Aから提出された新及び改訂された課題の検討

入力文書 Doc.1/40

無線電力伝送に関するITU-R研究課題210-2/1の改定案については特段の議論なく承認された。

文書番号	提出元	課題番号	表題	種別
1/40	WP1A	210-2/1	Wireless power transmission	改定

なお、WP1BおよびWP1Cからは課題に関する提案はなされなかった。

5. 新意見および意見の修正

入力文書 Doc.1/9,12,29

WP6Aから入力された有線・無線通信システムの共存に関してITU-T SG9およびSG5、ITU-R SG1およびSG5に向けたリエゾン文書(1/9)およびRRに規定されていない目的による周波数利用に関してITU-R SG1およびWP 1Aに向けたリエゾン文書(1/12)については特段の議論なくノートされた。

また、WP1Bから上程された新意見[PROT-RR-SERV]（RRやその他のITU規則等で規定されていない目的による周波数利用の両立性検討）（1/29）は一部微細な表現を改めた上で承認された。

なお、新意見の作成や意見の修正はSGにおいて採択・承認がなされるため、会合後すぐに有効とされる。

文書番号	提出元	意見番号	表題	種別
1/29	WP1B	[PROT-RR-SERV]	Compatibility considerations regarding the use of radio frequencies for purposes not considered within the Radio Regulations or other ITU instrument	新

6. 勧告、研究報告、研究課題の削除

入力文書 Doc.1/36,37

WP1Cから提出された3件の勧告（SM.1052、SM.1267、SM.1752）削除と検討完了による研究課題（214-1/1）削除の提案はいずれも特段の議論なく合意され、PSAAによる承認に回されることになった。

文書番号	提出元	削除対象		表題
		種別	番号	
1/36	WP1C	勧告	SM.1052	Automatic identification of radio stations
		勧告	SM.1267	Collection and publication of monitoring data to assist frequency assignment for geostationary satellite systems
		勧告	SM.1752	Limits for unwanted emissions under free-space condition
1/37	WP1C	課題	214-1/1	Monitoring of digital broadcasting signals

7. 勧告、報告書、ハンドブック、課題、意見、決議、決定のステイタス

7.1 現状の確認

入力文書 Doc.1/2

WP1A,B,Cにて検討した結果、修正は不要との結論に至ったため、1/2はノートされた。なお、ロデシュワルツ社が2011年に改定された監視ハンドブックの英語以外の発刊ステイタスを尋ね、BRにより昨年はWRC準備に忙殺されていた関係から翻訳作業が遅れていること、また、本件については現在、予算調整をしている段階にあることが説明された。

7.2 課題の延長

入力文書 Doc.1/1,2

WP1A,B,Cにて検討した結果、修正は不要との結論に至ったため上記2件の文書はノートされた。

文書番号	提出元	表題
1/1	SG1	Questions assigned to Radiocommunication Study Group 1
1/2	SG1議長	Assignment of the Study Group 1 texts to the Working Parties

7.3 SG1に注意が喚起された勧告および課題

入力文書 Doc.1/185,4,5,6,7

BRからの以下の文書5件は特段の議論なくノートされた。

- 占有周波数帯幅とデジタル固定業務システムにおける不要輻射に関するITU-R勧告 F.1191-3185(1/185)

- ・ SG3のITU-R勧告P.1871-1に関するSG1およびSG5に向けた文書(1/4)
- ・ SG5のITU-R勧告M.1732-1に関するSG1に向けた文書(1/5)
- ・ SG5のITU-R研究課題1-5/5および252/5に関してSG1, 4, 6, および7に向けた文書(1/6)
- ・ SG5のITU-R研究課題212-4/5に関するSG1, 4および7に向けた文書(1/7)

8. 他の SG や国際機関とのリエゾン

8.1 ITU-R

入力文書 Doc.1/27

日本からの寄書をもとにWP1Aにて作成された「275GHz以上における能動業務」に関するリエゾン文書は特段の議論なく承認され、SG3,4,5,7に送られることになった。

8.2 ITU-T

入力文書 Doc.1/184,188,195,196,197,198,10,11,13,14,21

上記の入力文書についてはSG1が開催される前に関連WPIにて既に審議済みであることが連絡された。WPIにおける具体的な活動は以下の通り。

- ・ 狭帯域無線ホームネットワーキング (NWHN) に関する文書 (184, 188, 195, 196,197,198,13,14,21) はWP1Bで審議され、リエゾンバックの文書がWP1Bから発出された。同様に、ITU-R決議60に関するリエゾン文書 (1/11) もWP1Bで議論され、リエゾンバックの文書を発出。
- ・ 新ITU-T勧告K.91に関する1/10についてはWP1Cで審議され、リエゾンバックの文書を発出した。

8.3 ITU-D

入力文書 なし

周波数管理に関する開発途上国の参画 (ITU-D SG2 が所掌する決議9) に関するジョイント・グループは延期され、2012年9月21日に開催予定である。ITU-Rからの共同議長はSG1議長が務めることで合意された。

8.4 CISPRおよびその他の機関

入力文書 Doc.1/182,183,187,189,190,194

前回のSG1会合で発出していた無線業務の保護に関するデータベース開発に関しては関連グループからのリエゾンバック文書 (1/183, 187, 189, 190, 194) を受領しており、これについてはWP1Aにおいて審議しており、CISPRへのリエゾン文書が発出されたことが連絡された。

また、ISO/IEC JTC1/SC 31から入力された自動識別とデータ取得技術に関する文書 (1/182) はWP1Bで審議しリエゾンバックの文書が作成された。

9. その他の寄書の審議

9.1 人体曝露の計測と評価

入力文書 Doc.1/17

イスラエルからIARC⁵における無線周波電磁場の発がん性評価を受け、勧告案ITU-T K.91における携帯電話のSAR測定についてコメントすることや、事業者間で基地局の共同設置を促進すること、ひいては人体曝露をできるだけ低減できるように有線通信や衛星通信を優先することなどを主旨とする文書が入力され、これについてはWP1A、B、Cのジョイントミーティングで審議された結果、WP1B議長報告に議論経緯等が記載されることで合意されていた。

これに加えて、本事項の重要性を踏まえSG1議長報告においても同様の情報を記載することをイスラエルが求め、ナイジェリア、エジプト、セネガルなどがこれを支持したが、ITU-TやITU-Dと作業が重複しないように注意すべきという見解（BBC）や無線以外の通信媒体を優先的に扱うといった観点はSG1の活動スコープ外であると考えられる見解（カナダ）などがあったことから、本件については現時点では特段の方向性は示さずに、SG1議長報告では次回のWP1B会合への入力を奨励するという記載に留めることで合意された。

9.2 その他

入力文書 Doc.1/186, 18, 19

- ・ イランから提出された「ナノ構造材料の電磁放射における効果に関する新ITU-R研究課題案」(1/186)はITU-R SG3が主要対応組織でありすでに対応済みであることからノートされるに留まった。
- ・ スマートグリッドとPLTに関するBBCからの文書(1/18)はWP1Bで審議されたことからノートされた。
- ・ 同様に、CRS（ITU-R決議58）に関するカナダからの入力文書(1/19)もWP1AおよびWP1Bにて審議されたことからノートされた。

10. デジタルディビデントに関するCGの設置

当初、SG1議長から示された議題には入っていなかったが、冒頭の開会の挨拶でBR局長がデジタルディビデントの重要性にふれた上で、SG1が本事項のインプリメンテーションについて果たす役割が大きいであろうという考えを提示したことから、SG1の下にデジタルディビデント（以下DD）に関するCGを設置することで合意された。

局長による提案は概して前向きに受け止められ、強い反対意見はなかったものの、本件はWRC-15の議題1.2が所掌するテーマであり、これに関する審議は今年から活動が本格化するJTG 4-5-6-7において進められる予定となっていることから、JTGとSG1の作業の切り分けについて懸念する見解も多かった（ドイツ、オランダ、インド）。これに対し、セネガル、エジプト、カタール等は特に途上国にとって重要なテーマであることを強調し、SG1による積極的な関与を推奨した。

⁵ 世界保健機関(WHO)の外部組織である国際がん研究機関(International Agency for Research on Cancer)

これらの見解を踏まえ具体的な方向性を定めるために急遽、ロシアが議長となりToRを作成するインフォーマル審議が開催され、主に以下の点が合意され、TEMP/2としてSG1において承認された。

【CG の活動目標】

- ・ DD の周波数管理に関する各国・地域の経験について情報を集める
- ・ 上記を受け、SG1 で検討すべき周波数管理の側面について検討
- ・ WRC-15 に向けた準備と重複しないように ITU の他グループの所掌を検討
- ・ 2013－2014 年をめどに報告を完成させる など

【WRC-15 との関係】

- ・ 主にデジタル移行を済ませていないアフリカ諸国向けの報告であり、WRC-15 関連の活動には直接的に関与しないものである。

【CG 議長】

- ・ ドイツの Mr. Kuhn 氏

11. 次回の SG 会合

2013年6月12日 スイス（ジュネーブ）

入力文書一覧⁶

文書番号	提出元	表題	
181*	Chairman, SG 1	Summary Record of the meeting of Radiocommunication Study Group 1 (2 June 2011)	2011年SG1 会合報告書の概要
182*	ISO/IEC JTC 1/SC 31	Automatic identification and data capture techniques	自動識別とデータ取得技術
183*	WP 5A, 5B, 5C, 5D	Liaison statement to Study Group 1 and Working Party 1A (copy to Study Groups 4, 6 and 7) - A database for the protection of radio services	無線通信業務の保護のためのデータベースに関してSG1 およびWP1A に向けたリエゾン文書
184*	WP 5A	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 on narrowband wireless home networking (copy to ITU-R Study Group 1 and Working Parties 1A, 1B and 5D for information)	狭帯域無線ホームネットワークに関するITU-T SG15 に向けたリエゾン文書
185*	BR Study Group Department	ITU-R Study Group 5 Recommendation ITU-R F.1191-3 - Necessary and occupied bandwidths and unwanted emissions of digital fixed service systems	占有周波数帯幅とデジタル固定サービスシステムにおける不要輻射に関するITU-R 勧告 F.1191-3
186*	Iran	Draft new Question ITU-R [NANO]/3 - The effect of nanostructure materials on electromagnetic emission	ナノ構造材料の電磁放射における効果に関する新 ITU-R 研究課題案
187*	WP 4C	Liaison statement to Study Group 1 (copy to Study Groups 5, 6, 7 and Working Parties 1A, 4A) - A database for the protection of radio services	無線通信業務の保護のためのデータベースに関してSG1 に向けたリエゾン文書
188*	ITU-T SG 15	Liaison statement to ITU-R Study Group 1 and Study Group 5 regarding G. wnb, narrowband wireless home networking	狭帯域無線ホームネットワークに関してITU-R SG1 およびSG5 に向けたリエゾン文書
189*	WP 4A	Liaison statement to Study Group 1 (copy to Study Groups 5, 6, 7 and Working Party 1A) - A database for the protection of radio services	無線通信業務の保護のためのデータベースに関してSG1 に向けたリエゾン文書
190*	WP 7B, 7C, 7D	Reply liaison to Study Group 1 - A database for the protection of radio services	無線通信業務の保護のためのデータベースに関してSG1 に向けたリエゾン文書の回答文書
191*	WP 6A	Liaison statement to Study Group 1 (for information to Study Group 7 and Working Parties 1A, 1B, 4A, 4C, 5B and 5C) - Definitions for adjacent channel leakage power ratio (ACLR) and adjacent channel selectivity (ACS)	隣接チャンネル・リーク比(ACLR)および隣接チャンネル選択度(ACS)の定義に関するSG1 に向けたリエゾン文書

⁶ 文書番号の後ろに*が付く文書(文書番号 181~198)に関しては、前研究期間(2007-2012年)からの引き継ぎ文書である。

文書番号	提出元	表題	
192*	WP 6A	Liaison statement to Study Group 1 and Working Party 1C - Recommendation ITU-R SM.1875 - DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	DVB-T のカバレッジ測定と計画基準の検証に関する ITU-R 勧告 SM.1875 に関して SG1 および WP 1C に向けたリエゾン文書
193*	WP 6A	Liaison statement to Study Group 1 and Working Party 1B - Technical and operating parameters and spectrum use for short-range Radiocommunication devices	短距離無線機器の技術/運用パラメータと周波数利用に関して SG1 および WP1B に向けたリエゾン文書
194*	WP 6A	Liaison statement to Study Group 1 (copy to Working Party 1A for information) - A database for the protection of radio services	無線通信業務の保護のためのデータベースに関して WP 1A に向けたリエゾン文書
195*	WP 5D	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 regarding G.WNB, narrowband wireless home networking (copy to ITU-R Study Group 1, Working Party 5A)	狭帯域無線ホームネットワークに関する ITU-T SG15 に向けたリエゾン文書
196*	WP 5A	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 regarding G.wnb, narrow-band wireless home networking (copy to ITU-R Study Group 1, Working Party 5D)	狭帯域無線ホームネットワークに関する ITU-T SG15 に向けたリエゾン文書
197*	ITU-T SG 15	Liaison to ITU-R Study Group 1 and Study Group 5 regarding G.wnb, narrowband wireless home networking	狭帯域無線ホームネットワークに関する ITU-R SG1 および SG5 に向けたリエゾン文書
198*	ITU-T SG 15	Liaison statement to ITU-R SG 1, WPs 1A, 1B, 5A and 5D regarding ITU-T G.9959 (ex-G.wnb), narrowband wireless home networking	狭帯域無線ホームネットワーク ITU-T G.9959 に関する WP 1A, 1B, 5A, 5D に向けたリエゾン文書
1	SG 1	Questions assigned to Radiocommunication Study Group 1	SG1 に割り当てられた研究課題
2	Chairman, SG1	Assignment of the Study Group 1 texts to the Working Parties	WP に向けた SG1 の取組み課題
3	Chairman, SG 1	WRC Resolutions and Recommendations related to the work of Study Group 1	SG1 に関連する WRC 決議と勧告
4	BR Study Group Department	Study Group 3 Recommendation ITU-R P.1817-1 to be brought to the attention of study groups 1 and 5	SG3 の ITU-R 勧告 P.1871-1 に関する SG1 および SG5 に向けた文書
5	BR Study Group Department	Study Group 5 Recommendation ITU-R M.1732-1 to be brought to the attention of Study Group 1	SG5 の ITU-R 勧告 M.1732-1 に関する SG1 に向けた文書
6	BR Study Group Department	Study Group 5 Questions ITU-R 1-5/5 and 252/5 to be brought to the attention of Study Groups 1, 4, 6 and 7	SG5 の ITU-R 研究課題 1-5/5 および 252/5 に関して SG1, 4, 6, および 7 に向けた文書

文書番号	提出元	表題	
7	BR Study Group Department	Study Group 5 Question ITU-R 212-4/5 to be brought to the attention of Study Groups 1, 4 and 7	SG5 の ITU-R 研究課題 212-4/5 に関する SG1, 4 および 7 に向けた文書
8	SG1	Documents carried forward from the previous study period (2007-2012)	2007-2011 年の研究期間からの引き継ぎ文書一覧
9	WP 6A	Liaison statement to ITU-T Study Groups 9 and 5 and to ITU-R Study Groups 1 and 5 for information - Coexistence of wired and wireless communications systems	有線・無線通信システムの共存に関して ITU-T SG9 および SG5、ITU-R SG1 および SG5 に向けたリエゾン文書
10	ITU-T SG5	Liaison statement - Consent on new Recommendation ITU-T K.91(K.guide)	新 ITU-T 勧告 K.91 に関する合意に関するリエゾン文書
11	ITU-T SG5	Liaison statement - Resolution ITU-R 60	ITU-R 決議 60 に関するリエゾン文書
12	WP 6A	Liaison statement to ITU-R Study Group 1 and Working Party 1A - Designation of frequencies for purposes not considered in the Radio Regulations	RR に規定されていない目的による周波数利用に関して ITU-R SG1 および WP 1A に向けたリエゾン文書
13	ITU-T SG 15	Liaison to ITU-R Study Group 1 regarding G.wnb, narrowband wireless home networking	狭帯域無線ホームネットワークに関する ITU-R SG1 に向けたリエゾン文書
14	ITU-T SG 15	Liaison statement to ITU-R Study Group 1 regarding draft Amendment 1 to Recommendation ITU-T G.9955 (2011) (ex G.hnem)	ITU-T 勧告 G.9955 の修正案に関して ITU-R SG1 に向けたリエゾン文書
15	WP 6A	Liaison statement to Study Group 1 and Working Party 1A, and for information to ITU-T Study Group 15 - Question ITU-R 236/1 - Impact on radiocommunication systems from wireless and wired data transmission technologies used for the support of power grid management systems	有線・無線データ転送技術による無線通信システムへの影響に関する ITU-R 研究課題 236/1 に関して SG1, WP 1A, ITU-T SG15 に向けたリエゾン文書
16	Chairman, SG 1	Summary of the Results of RA-12 and CPM15-1	RA-12 および CPM15-1 会合の概要
17	Israel	Human exposure to electromagnetic fields: Measurement and assessment	電磁界への人体ばく露に関する評価方法
18	BBC	Recent developments on Smart Grid and PLT involving spectrum management	周波数管理を含めたスマートグリッドおよび PLT に関する最近の発展
19	Canada	Resolution ITU-R 58 - Studies on cognitive radio systems	コグニティブ無線システムに関する研究 (ITU-R 決議 58) に関する文書
20	WP 5A	Liaison statement to relevant Working Parties of Study Group 5 on further studies on cognitive radio systems (CRS) (copy for information to relevant Working Parties of Study Groups 1, 4, 6 and 7)	コグニティブ無線システムに関する SG5 の関連 WP に向けたリエゾン文書

文書番号	提出元	表題	
21	WP 5A	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 regarding G.wnb, narrow-band wireless home networking (copy to ITU-R Study Group 1, Working Party 5D)	狭帯域無線ホームネットワーキングに関する ITU-T SG15 に向けたリエゾン文書
22	WP 1B	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1603 - Spectrum redeployment as a method of national spectrum management	国家周波数管理の手段としての周波数再分配に関する ITU-R 勧告 SM.1603 の改定案
23	WP 1B	Preliminary draft new Report ITU-R SM.[RFID] - Technical characteristics, standards, and frequency bands of operation for RFID and potential harmonization opportunities	RFID の技術的特徴、規格、周波数帯に関する ITU-R 新レポートの暫定案
24	WP 1B	Draft modification of Report ITU-R SM.2153-2 - Technical and operating parameters and spectrum use for short range radiocommunication devices	短距離無線機器の技術/運用パラメータと周波数利用に関する ITU-R レポート SM.2153-2 の修正案
25	WP 1C	Draft editorial revision of Section 3.2.1.1 of Report ITU-R SM.2125-1 - Parameters of and measurement procedures on H/V/UHF monitoring receivers and stations	H/V/UHF帯の監視用受信機及び監視局のパラメータ及び測定手順に関する ITU-R レポート SM.2125-1 のセクション 3.2.1.1 の修正案
26	WP 1C	Draft modification of Report ITU-R SM.2212 - Impact of power line telecommunication systems on radiocommunication systems operating in the VHF and UHF bands above 80 MHz	PLT システムが 80MHz 以上の VHF/UHF 帯の無線通信システムに及ぼす影響に関する ITU-R レポート SM.2212 の改定案
27	WP 1A	Draft liaison statement from SG 1 to Study Groups 3, 4, 5 and 7 - Active services operating above 275 GHz	275GHz 以上の周波数帯における業務に関する SG1 から SG3, 4, 5 および 7 に向けたリエゾン文書案
28	WP 1B	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1047-1 - National spectrum management	国家周波数管理に関する ITU-R 勧告 SM.1074-1 の改定案
29	WP 1B	Draft new Opinion ITU-R [PROT-RR-SERV] - Compatibility considerations regarding the use of radio frequencies for purposes not considered within the Radio Regulations or other ITU instrument	RR に規定されていない目的による周波数利用に関する ITU-R 新意見案
30	WP 1A	Draft new Recommendation ITU-R SM.[INDUCTIVE_SYS] - Protection distance calculation between inductive systems and radiocommunication services using frequencies below 30 MHz	30MHz 以下で使用する電磁誘導機器と無線通信業務との保護距離の計算に関する新 ITU-R 勧告案
31	WP 1B, 1C	Draft new Report ITU-R SM.[MAJOR_EVENTS] - Spectrum management and monitoring during major events	主要イベントにおける周波数管理と電波監視に関する新 ITU-R レポート案
32	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1600 - Technical identification of digital signals	デジタル信号の技術的特定に関する ITU-R 勧告 SM.1600 の改定案

文書 番号	提出元	表題	
33	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1753-1 - Methods for measuring radio noise	電波雑音に関する測定方法に関する ITU-R 勧告 SM.1753-1 の改定案
34	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.[SPECT_OCCUPANCY] - Spectrum occupancy measurements and evaluation	周波数スペクトラムの測定・評価に関する ITU-R 勧告の改定案
35	WP 1C	Draft new of Report ITU-R SM.[406MHZIX] - Overview of interference source detection and geolocation affecting the 406.0-406.1 MHz band used by emergency beacons	干渉予測・位置測定源が緊急ビーコンに使用される 406.-406.1MHz 帯に及ぼす影響に関する新 ITU-R レポート案
36	WP 1C	Proposed suppression of ITU-R Recommendations assigned to Working Party 1C	WP 1C に割り当てられた ITU-R 勧告の削除案
37	WP 1C	Proposed suppression of Questions assigned to Working Party 1C	WP 1C に割り当てられた研究課題の削除案
38	WP 1C	Draft editorial revision of Section 2.2 in Annex 1 to Recommendation ITU-R SM.1875 - DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	DVB-T のカバレッジ測定と計画基準の検証に関する ITU-R 勧告 SM.1875 の附属 1 のセクション 2.2 に関する改定案
39	WP 1A	Draft modification of Recommendation ITU-R SM.329-11 - Unwanted emissions in the spurious domain	スプリアス領域における不要輻射に関する ITU-R 勧告 SM.329-11 の改定案
40	WP 1A	Draft revision of Question ITU-R 210-2/1 - Wireless power transmission	無線電力伝送に関する ITU-R 研究課題 210-2/1 の改定案
41	Vice-Chairman WP 1C	Executive Report to Study Group 1	SG1 に向けた議長報告書
42	Chairman, WP 1A	Executive Report of the meeting of Working Party 1A (Geneva, 6-13 June 2012)	WP1A の議長報告書
43	Chairman, WP 1B	Executive Report of the meeting of Working Party 1B (Geneva, 6 - 13 June 2012)	WP1B の議長報告書
44	BR Study Group Department	List of documents issued	入力文書一覧